

◆ **鎌倉市は大嘘つき、その証拠！**

事あるごとに‘お金が無い’‘予算が厳しい’とずっと言って来た鎌倉市役所。
 しかし、基金という形で、総額約180億円も貯め込んでいます。
サービスを提供しないで市民に我慢させて貯め込んでいるのです。
 鎌倉市の令和5年度一般会計予算は667億円。
年予算の約27%もため込む必要性は無い。今やるべき事に予算を使うべき。

(4) **基金**

基金の増減及び4年度末現在高は、次表のとおりである。

鎌倉市役所に
騙されないで！

維持又は積立基金の異動状況

(単位：円)

区分	3年度末 現在高	4年度中増減高			4年度末 現在高
		増加		減少	
		運用利息※			
財政調整基金	6,049,185,006	2,107,321,970	224,970	0	8,156,506,976
就学援助基金	55,866,461	32,204,000	4,052	13,500,000	74,570,461
こどもの夢応援基金(旧遊児福祉)	142,157,302	49,411,398	10,398	3,933,000	187,635,700
教育文化施設建設等基金	1,781,469,615	3,044,705	37,705	0	1,784,514,320
公共公益施設整備基金	233,780,544	10,717,088	17,088	0	244,497,632
風致保存基金	0	6,320,196	0	6,320,196	0
緑地保全基金	114,215,276	13,058,655	3,419	2,125,450	125,148,481
一般廃棄物処理施設建設基金	1,509,510,098	101,856,330	4,330	0	1,611,366,428
介護給付等準備基金	1,839,211,811	383,770,374	64,441	165,878,000	2,057,104,185
国民健康保険運営基金	724,858,051	238,598,000	41,211	163,817,000	799,639,051
スポーツ施設建設基金	146,892,474	10,595,129	429	0	157,487,603
図書館振興基金	16,851,627	6,081,926	1,178	0	22,933,553
景観重要建造物等保全基金	99,770,441	18,707,409	3,049	11,840,000	106,637,850
本庁舎整備基金	2,003,096,800	600,006,082	6,082	0	2,603,102,882
みんなで支え合う新型コロナウイルス感染症対策基金	71,083,054	15,682,631	631	77,000,000	9,765,685
森林環境譲与税基金	8,681,197	594	594	3,222,050	5,459,741
市民活動推進基金	2,588,000	2,854,022	22	0	5,442,022
合計	14,799,217,757	3,600,230,509	419,599	447,635,696	17,951,812,570

※運用利息は、内数字である。ただし、就学援助基金のみ運用利息は積立てを行わず、全額を事業費に充当している。

介注目

年度末現在高は、前年度と比較すると3,152,594,813円増加した。
 この主な理由は、財政調整基金及び本庁舎整備基金への積立てによるものである。



◆ **鎌倉市議会議員長嶋竜弘**
 第163号4期目30号(正月号)
革命はTVに映らない暴露TV
毎週水曜日20時～ネット生配信番組。
 多彩なゲストをお招きして、政治・時事問題を、
 映画監督小楠けんじさんとやっている番組。
 ⇒この国の現状を赤裸々にお話しています。

◆ **どうなる、村岡新駅！**

12月5日の議会全員協議会で以下の内容が示されました。
鎌倉市側から駅に至る道路は11件の地権者。反対している方がいる
 と聞いており簡単には進まないと思われます。私は反対しています。

東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置について

全員協議会長嶋質疑
近隣道路問題は非常に大きいと考えます⇒



1 経過

神奈川県、藤沢市及び鎌倉市(以下「3県市」という。)と東日本旅客鉄道株式会社(以下「JR」という。)とで、令和3年(2021年)2月8日に「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置に関する覚書」を締結して以来、東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)(以下「新駅」という。)設置の実現に向けて取組を進めてきました。

令和4年(2022年)3月28日に3県市とJRとで締結した「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置及び自由通路整備に関する基本協定書」に基づき、それぞれ費用負担について確認した上で、令和4年度から令和5年度にかけて新駅整備に係る詳細設計を実施しています。

賛成の声は市民から聞こえてこない。**巨大な土地利権。**

2 速報値に基づく新駅設置についての変更見込み

	概略設計 (令和2年度)	詳細設計(速報値) (令和5年12月)
事業費	約150億円	約159億円 【約9億円増】

◆ 市長が自ら駅頭で配布した「てのりかまくら」

- ・この配布は明らかに市長の政治活動。市職員が手伝い配布した事は問題。
- ・市の業務と言うなら、重要案件を一部の市民にしか配布していないのは問題。
- ・①～④の説明は都合のいい解釈。対応可能なのにやろうとしないだけ。
- ・全て‘ありき’で進めて来た事は明白。巨大な土地利権。市民の為ではない。
- ・移転は議会で否決した⇒移転できない事が前提⇒なのにおかしな説明記載。

◆ 都合の良い解釈して、市民を騙している！

てのりかまくら 「市役所移転が必要な主な理由」 ⇒

この内容は役所側の都合の良い解釈で、嘘・騙しを記載している。市長がこんな事やっていいの？正しい情報開示、出来る対応提案を示すべき。

○理由1…長嶋が①～④の理由の解説を記載

・現庁舎はIS値0.6→地震の震動及び衝撃に対して倒壊し又は崩壊する危険性が低いという分類。状況によって補強などが必要になるが、業務が即座に継続出来なくなる、は正しい表現ではない。震度も強と弱でも違う。

→制震補強(建物外側制震ダンパー)、免震補強、等すれば済む話し。また、現本庁舎の場所は地盤が強固なため、周辺より震度は1程度低くなる。

・発災時の応援を市庁舎で受け入れる、と言うのは間違った考え方。

東日本大震災でそうやっていた自治体を私は見たことが無い。体育館、学校、行政施設(例:生涯学習センター)、お寺、公園などでやっていた。

○理由2.

・古い建物なのに大規模修繕をやっていない。ダメになるに決まっている。修繕をそれなりにやれば良い事。トコトンお金をかけない方針。

○理由3.

・スペースの有効活用がされていない。入口エントランス、中庭、屋上、議会廊下、2Fまでしかない部分の上部、などの活用。駐車場・駐輪場を多層階にする。効率の悪い施設構造を見直せばスペースはつくれる。

○理由4.

・困難でもなんでも無い。やる気が無いだけ。高さ10m 3階建てで1万7千平米は確保出来る。そもそも条例改正すれば建てられる。

・重要な埋蔵文化財がある可能性が高い。それならそれはきちんと調査して保全の為に動く事が先のはず。

市民は高い固定資産税・家賃を払い、狭くてもこの条件で住んでいる。役所が自分達の都合だけでものを言うのはおかしくないですか？

次号新聞で移転対案をお示しいたします！

てのりかまくら

市役所移転が必要な主な理由

昨年、市役所移転に必要な条例案(3分の2以上の賛成が必要)は賛成16、反対10で否決されましたが、市民の皆様にとって必要な事業であることから、引き続き、議会で可決いただけることを目指して取組を進めています。

理由1 災害時の対策

- ・震度6クラスの地震発生後に業務を継続できる耐震性がない
- ・発災時、国や他の自治体などからの応援を受け入れるスペースがない

理由2 施設の老朽化

- ・築50年以上が経過し、建物そのものや、空調・給排水などの設備の老朽化が進んでいる

理由3 施設内のスペース不足

- ・来庁者の待合スペースが狭く、通路幅なども不十分(車いすの通行などにも支障がある)

理由4 現在地での再整備が困難

- ・条例により建物の高さが10m以下に制限されている
- ・埋蔵文化財包蔵地であるため地下工事への制限がある